

# 環境に係る情報協議会

## 国営かんがい排水事業 網走川豊住地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（大空町「田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

大空町には、藻琴山山麓に広がる森林環境や、網走川や藻琴川等の河川とその支流からなる水環境など、豊かな自然環境が形成されている。網走湖女満別湖畔では、ミズバショウ群落やアオサギコロニーなどの貴重な野生動植物や緑豊かな自然環境が残っている。

また、中央部の丘陵地帯を中心として、町内全域にわたり豊かで美しい田園風景が広がっている。

##### 【課題】

近年の林地開発に伴う土砂の流出や生活雑排水などの流入、化学肥料や農薬の過剰な投入、家畜ふん尿や残さ物の不適切な処理により、水環境の悪化が課題となっており、保全対策が必要となっている。

女満別湖畔の湿生植物群落でも、水質の悪化等による環境への影響が懸念されており、保全していくと共に失われつつある自然を回帰させていく対策が必要となっている。

また、町内全域に広がる豊かな田園風景の保全あるいは創出を図っていくなど、人と自然の関係を見直し、自然と共生していく視点が求められている。

#### 《環境保全の基本的考え方》（大空町「田園環境整備マスタープラン」より）

人と自然の共生を目指して、大空町の豊かな田園環境を保全する取組を推進していく。

### 2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

#### 《基本方針》

##### ○ 調査位置の考え方

###### ①ポントー沼

不施工区間のポントー沼周辺には湿原環境が広がり、多様な動植物が生息・生育している可能性が高いことから、ポントー沼及びポントー沼に隣接する整備対象箇所にて調査を実施する。

###### ②豊住排水路上流部

整備対象区間は、道路沿い及び農地内に位置し路線全体を通じて大きな環境の差異は認められない。

豊住排水路の上流部には、水田用水を取水するための水門があり、下流区間とは水域環境が異なることから、この水門の上流部にて調査を実施する。

##### ○ 調査項目の考え方

既往調査の活用を基本とする。

整備に伴い生息・生育環境に直接影響を与えることが想定される魚類、底生動物及び植物並びに調査が不足している鳥類・水質について現地調査を実施する。

#### 《環境調査内容》

○調査項目           ①鳥類   ②魚類   ③底生動物   ④植物   ⑤水質

○調査方法           鳥           類   :   ポイントセンサス法

魚           類   :   採捕調査

底生動物   :   任意採集法

植           物   :   植物相調査

水           質   :   SS、濁度